

CSVストーリーズ

社会課題の解決につながる新たな価値の創出を通じて、「世界のCSV先進企業」への進化を目指す——その実現に向けてキリングroupは、長期的な目標・指針である「CSVパーパス」と、アクションプランである「CSVコミットメント」を策定しました。ここでは、CSV重点課題として設定している「健康」「地域社会・コミュニティ」「環境」「酒類メーカーとしての責任」に関わる5つの取り組みを紹介します。

CSVパーパス& コミットメント

P.31

CASE

1

健康 医薬事業 P.33

世界の患者さんの
クオリティ・オブ・ライフ
向上に貢献する



CASE

2

健康 医と食をつなぐ事業 P.35

技術資産を活かした
機能素材の提供で
健康な生活に貢献する



社会と企業のサステナビリティ実現に向けて

グループを取り巻く環境は大きく変化しており、社会課題の解決に向けて、企業が積極的な役割を担うことを期待されています。私たちキリングroupは2005年9月に国連グローバル・コンパクト(UNGC)への参加を表明しており、以来UNGCの定める4分野10原則※を基盤に、社会と企業のサステナビリティ実現に向けて取り組みを推進しています。「持続可能な開発目標(SDGs)」については、今年策定したCSVパーパスを指針として、グループ全体で中長期的に事業を通じた課題解決に取り組んでいます。

※ 普遍的な価値として世界的に採択・合意された「人権」、「労働」、「環境」、「腐敗防止」の4分野。



キリンホールディングス株式会社

代表取締役社長 磯崎功典



CASE
3

地域社会・コミュニティ P.37

ブドウ生産地のコミュニティと協働で「シャトー・メルシャン」の販売拡大を目指す



CASE
4

環境 P.39

エネルギー転換の推進でGHG排出量30%、燃料コスト10億円規模削減へ



CASE
5

酒類メーカーとしての責任 P.41

豪州で人々のつながりを生む飲酒文化を醸成する

社会と価値を共創するための 新しい指針と目標を設定

CSVパーパスの策定

キリングroupでは、2017年にグループを取り巻く社会課題から「酒類メーカーとしての責任」を前提に、「健康」「地域社会・コミュニティ」「環境」を重点課題として選定しました。SDGsを参照し、ターゲットとゴールを設定した上で、これらの社会課題に対して、長期経営構想「キリングroup・ビジョン2027」の長期非財務目標であり、社会と価値を共創し持続的に成長するための指針として「CSVパーパス」を策定しました。

 私たちのCSVパーパス
<https://www.kirinholdings.co.jp/csv/purpose/>



グループCSV委員会においてグループ・マテリアリティ・マトリックスを見直し

全社がCSVを積極的・自主的に推進していくために、原則年1度、キリンホールディングス社長が委員長となるグループCSV委員会を開催しています。

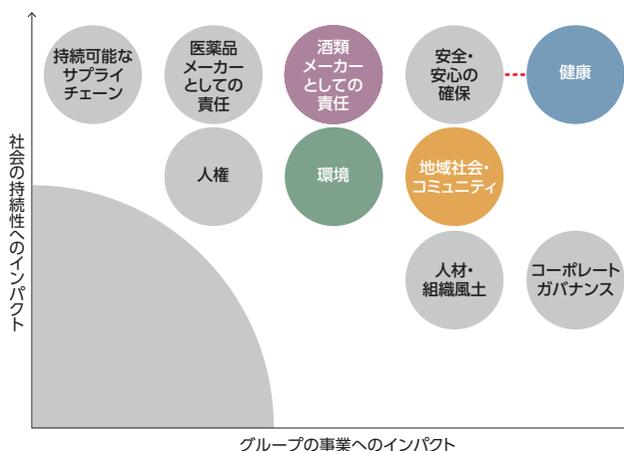
主要事業会社*の社長も委員として出席し、最適なグループCSV方針・戦略および取り組み計画策定のための討議を行うとともに、CSV推進計画の実行状況のモニタリングを行います。

2018年5月に開催したCSV委員会では、新中期経営計画の策定に合わせ、ステークホルダーダイアログなどのプロセスを経て、将来にわたる社会からの要請を把握し、課題の対応範囲や中味を見直しました。

* キリンビール、キリンビバレッジ、メルシャン、ライオン、ミャンマー・ブルワリー、協和発酵キリン、協和発酵バイオ

 持続的成長のための経営諸課題
<https://www.kirinholdings.co.jp/csv/materiality/>

グループ・マテリアリティ・マトリックス



CSVコミットメント目標値を中期経営計画の非財務目標に

2027年に向けたキリングループ長期経営構想で定めたありたい姿を達成するために、各事業の中長期アクションプランである19の「CSVコミットメント」を、キリングループ2019年-

2021年中期経営計画の非財務目標として設定しました。今後、グループ全体でのCSVの実行度を上げて、成果についても積極的に情報開示を行ってまいります。

 コミットメントアプローチ・成果指標などの詳細はウェブサイトをご覧ください。
https://www.kirinholdings.co.jp/csv/commitment/pdf/CSV_all_J.pdf

	主なCSVコミットメント	成果指標	2021年目標値
酒類メーカーとしての責任  CASE5 P.41	適正飲酒啓発と次世代へのお酒の文化継承	① 適正飲酒啓発プログラムの実施 ② 適正な飲酒習慣をサポートするアルコール量の表示 【キリンビール、メルシャン、ライオン、ミャンマー・ブルワリー】	① 参加人数:100万人 ② アルコール量ラベル表示実施 ^{*1}
	健康・未病領域におけるセルフケア支援	① 無糖商品・健康機能エビデンス関連商品の拡充 【キリンビバレッジ、小岩井乳業】 ② 健康機能性素材(プラズマ乳酸菌)の新たな価値の継続的な創造 【キリンホールディングス】	① 商品売上/構成比率 ^{*1} ② 購入できる国数:5カ国(総人口6.5億人)
健康  CASE1 P.33  CASE2 P.35	治療領域の進化	バイオ医薬品の提供を通して培った強みである研究開発力と製造技術力を核として創薬基盤を強化し、自社創薬の新薬を世界へ提供 【協和発酵キリン】	複数地域での上市品目数:3品目以上 国数:のべ50カ国以上
	コミュニティ活性化への貢献	キリングループ商品がある食卓・飲食店・レクリエーション・季節ごとの行事・スポーツ/音楽イベントなど、人と人がつながる機会の拡大、創出 【キリンビール、メルシャン、キリンビバレッジ、ミャンマー・ブルワリー】	人と人がつながる機会をつくる商品・サービス数量 ^{*2}
地域社会・コミュニティ  CASE3 P.37	原料生産の持続可能性強化	持続的な調達と生産地域の活性化に向け、長期的な視点に立った原材料の価値化と生産地または農家への支援 ① 日本産ホップ調達量 【キリンビール】 ② 日本ワイン用ブドウ生産量 【メルシャン】 ③ 醸造米契約栽培切替率 【ミャンマー・ブルワリー】 ④ レインフォレスト・アライアンス認証支援小規模農園数 【キリンホールディングス、キリンビバレッジ】	① 100t(2027年) ② 200t(2027年) ③ 10% ④ 10,000農園(2025年)
	気候変動影響への対応	再生可能エネルギー導入と省エネルギー推進 【グループ全体】	GHG ^{*3} 削減率:30%(2030年、15年比)
環境  CASE4 P.39	容器包装の取り組み	容器包装の3R・資源循環推進 【キリンビール、キリンビバレッジ、メルシャン】	PETボトル用樹脂のリサイクル樹脂使用率:50%(2027年)

^{*1} 1 個社ごとに設定 ^{*2} 目標値は検討中 ^{*3} 温室効果ガス